

東京都済生会中央病院で診療を受けられる皆様へ

東京都済生会中央病院（以下、当院）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする生命科学、医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の【お問い合わせ先】へご連絡ください。

【研究の名称】

フレイルチェストに対する手術および非手術治療の意義

【研究機関及び研究責任者】

研究機関：東京都済生会中央病院・救命救急センター

研究責任者：須田 秀太郎

【研究の目的】

フレイルチェストは胸部外傷による生じる重篤な病態であり、高い致死率であることが知られています。その治療法として手術療法として肋骨固定術が行われる場合がありますが、手術をどの時期に行うことが適切かについては明らかになっておりません。東京都済生会中央病院救急診療科では7日間の非手術療法後も動揺胸郭が残存する場合に肋骨固定術を検討しており、本研究では、この治療方針がフレイルチェストの経過に与える影響を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法及び期間】

研究の方法:通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

研究の期間:当院の臨床研究倫理審査委員会承認後から2023年3月31日。

【研究対象者の選定について】

・対象となる患者さん

2013年4月から2022年3月までの期間に東京都済生会中央病院救急診療科にフレイルチェストの診断で入院し、人工呼吸器管理を用いた入院加療を行った患者さんを対象としております。

・利用する診療情報

対象患者さんの年齢、性別、来院時バイタルサイン、Injury Severity Score、人工呼吸器装着期間、退院時生存転帰、フレイルチェストに対する手術の有無、痛みの継続期間。

【対象となる患者さんに生じる負担並びに予測されるリスク及び利益】

本研究は通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われるため、患者さんへの負担、リスク及び利益は発生しないと考えます。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は以下の[問い合わせ先]にご連絡下さい。そ

の場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

【本研究の実施について】

本研究は、臨床研究倫理審査委員会による審査の上、研究機関の長による承認を得て実施しております。

【問い合わせ先】

東京都済生会中央病院・救命救急センター

東京都港区三田 1-4-17 電話：03-3451-8211（代表）

受付時間 平日；9：00～17：00 土曜：9：00～12：30

担当 須田 秀太郎